

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年3月23日（木）

2 確認箇所

- ・化学分析棟
- ・K4タンクエリア
- ・5・6号機海側工事エリア
- ・JAEA大熊分析・研究センター分析棟（第1棟）

3 確認項目

令和4年度第8回原子力発電所安全確保技術検討会による現場調査

4 確認結果の概要

「令和4年度第8回原子力発電所安全確保技術検討会」による現場調査に同行し、専門委員、関係自治体とともに、ALPS処理水希釈放出設備に設けられるサンプリング設備やALPS処理水を分析・測定するための設備を確認した。（図1）

なお、3月20日に東京電力から公表された、「ALPS処理水希釈放出設備のうち、循環・攪拌運転と別系統の測定・確認用タンクの水位低下について」に関しても現場で説明を受け、東京電力に対し、原因究明の徹底と再発防止対策等を講ずるよう求めた。

（1）化学分析棟

- ・ALPS処理水の測定対象となる69核種（トリチウム含む）を分析・測定するための設備の設置状況を確認した。当技術検討会において専門委員が測定することを求めていた「鉄-55」を測定するための低エネルギー光子用ゲルマニウム半導体検出器（LEPS）やトリチウムの分析状況等を確認した。（写真1）

（2）K4タンクエリア

- ・タンク10基に移送された約10,000m³のALPS処理水を循環・攪拌により均質化した後に、分析・測定のための試料を採取する計画としていることから、タンク10基を連結する系統に設置された試料採取設備の状況を確認した。（写真2-1）
- ・3月20日公表の循環・攪拌中のALPS処理水中に別系統のタンク貯留水が流入したことの原因とされている電動弁の状況を確認した。（写真2-2）

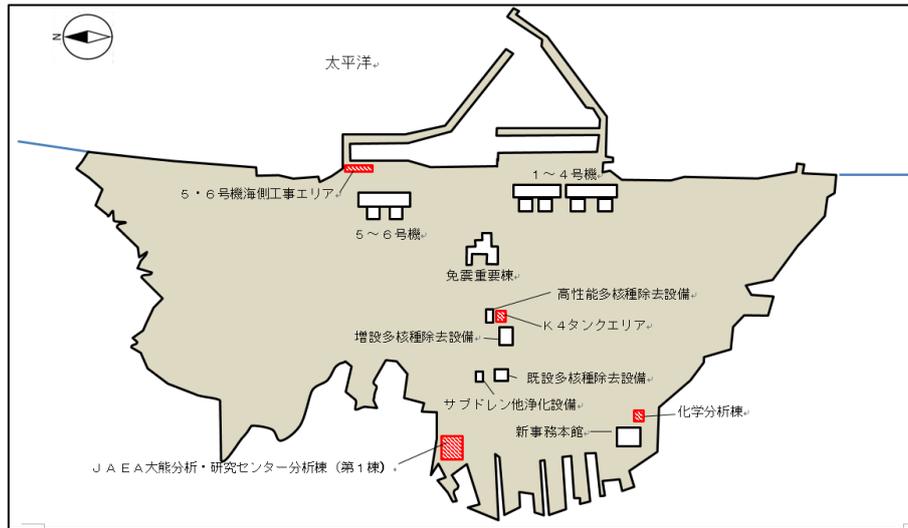
（3）5・6号機海側工事エリア

- ・ALPS処理水と海水が適切に混合され、トリチウムが100倍以上に希釈されていることを確認するため、海水配管ヘッダ下流に試料採取箇

所が設けられる計画であることから、その整備状況を確認した。（写真3）

（4）JAEA大熊分析・研究センター分析棟（第1棟）

- ・ALPS処理水が規制基準を満足していることを確認するための分析・測定は、第三者機関としてJAEAがクロスチェック測定を行う計画としていることから、そのための分析・測定設備を確認した。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1）
トリチウム分析の前処理について説明（デモンストレーション）を受けている状況



（写真2-1）
ALPS処理水のサンプリング設備について説明を受けている状況



(写真 2 - 2)

電動弁のシートパス※について説明を受けている状況

※弁が完全に閉まっておらず、内部の水の流れを完全に止めることができていない状態。



(写真 3)

サンプリング予定箇所について説明を受けている状況



(写真 4)

分析棟の管理について説明を受けている状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。